

新たな利用困難をもたらす見直しを中止し、  
介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度へ

## 介護・福祉施設の人員配置 アンケート結果



2025 年 10 月 2 日発表

日本医療労働組合連合会

電話 : 03-3875-5871/ FAX : 03-3875-6270/ Eメール : [nask@irouren.or.jp](mailto:nask@irouren.or.jp)

# 国・自治体に対する日本医労連の要請事項

2025 年 10 月 日本医療労働組合連合会

## ◆日本医労連の国・自治体への要請事項

### 一、人員配置基準を引き上げること

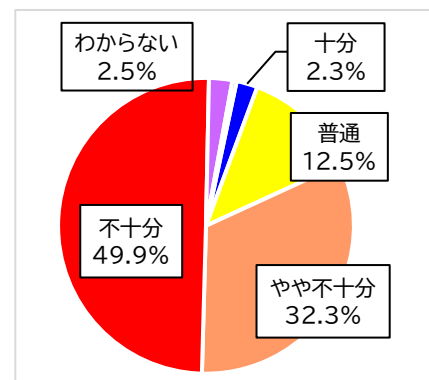
### 一、介護・福祉従事者の賃金を大幅に引き上げること

厚生労働省の、27 年度介護報酬改定に向けた議論では、特養ホームの人員削減などの見直しが含まれています。しかし、介護・福祉現場は慢性的な人手不足から、利用者・労働者互いの人権が守られない実態があります。

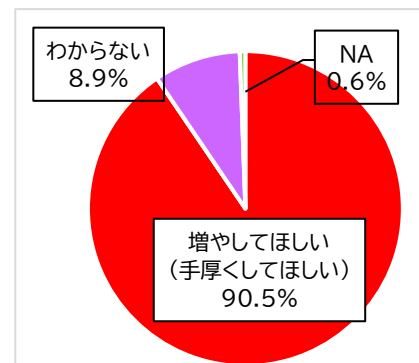
日本医労連が今回実施した介護・福祉施設で働く職員を対象に行った調査では、圧倒的多数がサービス提供に不十分さを感じており、人員体制を増やすことを望んでいることが明らかになりました。また、自由記載を通じて、賃金・処遇改善の要望が強く出されています。よって、上記 2 点を国・自治体へ要請するものです。

#### 【理由】

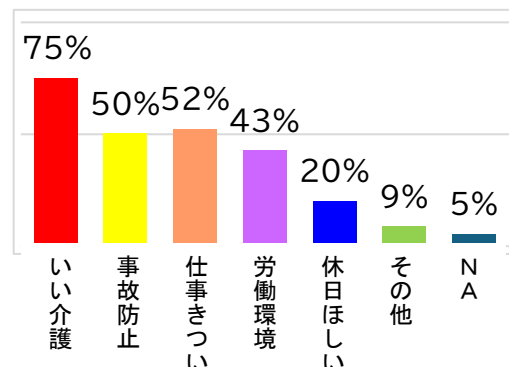
現在の人員体制で十分な介護・福祉サービスが行えているかについては、「不十分」が 49.9%と過半数に迫る回答率になりました。「やや不十分」の回答 32.3%と合わせると、**圧倒的多数の 82.2%が、現在の人員体制でのサービス提供に不十分さを回答しています。**



現在働いている職場の介護・福祉職員を「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」か、「減らしてほしい」かについては、人員体制が「十分」、「普通」の回答もみられましたが、質問 3 では**「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」が 90.5%を占め、「減らしてほしい」の回答はありませんでした。**



増やしてほしいを選択した理由については（複数回答可）、利用者・患者に対して**「いい介護を提供したい」が 75%**と最多の回答になりました。ついで「仕事のきつさ」、「転倒・転落の事故防止」のための回答が 50%以上の回答率となりました。



## 介護・福祉施設の人員配置についてのアンケート結果について

### はじめに

厚労省は、第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について、2040年度までに介護職員を約272万人（2022年度からプラス約57万人）に増やす必要があることを公表しています。いわば、このままでは介護職員が大幅に不足するということです。介護職員数は、介護保険制度発足から2022年度まで増え続けてきていましたが、2023年度にはじめて減少に転じました。介護を必要とする人が増えていく一方で、介護職員不足は進行することから、早急に対策を打たなければならない緊急事態とも言える状況が起こっています。

介護施設では、利用者3人に対し介護職員1人以上（以下、3:1）の人員配置基準（基準）が定められており、それ以上に手厚く職員を配置する場合の保障は、報酬からは加算対応のみで、十分な人件費を賄うだけの報酬とはなっていません。厚労省の調査で実際の人員配置の水準を公表していますが、特養などの施設系9業態で配置を基準以上に引き上げており、国が定める基準では必要な介護を提供することが困難であることを示しています。さらには、増員してもなお、介護現場では休憩や休日が取得出来ないなど、労基法遵守に関する問題が山積しており、職員の休みが急に発生した場合には、その日の職員の体制が少なくなるなどの問題が生じています。

安全・安心に必要な介護・福祉を提供するには、介護・福祉労働者の大幅な賃上げと増員は第一義的課題です。

配置人員については、アンケート結果、基準以上でも労働環境が過酷になっていること、コロナ禍の教訓からも基準引き上げの必要性は明らかです。

基準引上げについては、国・自治体が法や条例で定めるため法・制度改正が必要となります。法・省令改正などで、基準が引き上がった場合には、その基準を満たす労働者確保が求められます。しかし、介護・福祉労働者不足は深刻で、緊急に担い手確保対策を講じなければなりません。そのため、併せて処遇改善も必要です。

処遇改善については、介護・福祉労働者が生活苦を理由に離職することを避けるためにも、全産業平均水準となるよう処遇を早急に改善し、その社会的役割にふさわしい処遇が保障されなければなりません。

以上のことから、日本医労連は、国・自治体に対し以下を求めます。

### 一、人員配置基準を引き上げること

### 二、介護・福祉従事者の賃金を大幅に引き上げること

# 介護・福祉施設の人員配置についてのアンケート結果

2025 年 10 月 日本医労連

【調査期間】 2025 年 6 月 9 日調査開始 ～ 2025 年 8 月 31 日

※9 月 19 日到着分までを調査に反映

【調査対象】 介護・福祉施設で働く介護業務に従事する職員

【調査方法】 調査票を加盟組織に經由して、各単組・支部（事業所ごとの労働組合）、未組織事業所へ送付。調査票を単組・支部から回収及び、グーグルフォームからの回答を日本医労連本部で集約。

【調査目的】 介護・福祉施設では、適切なサービス提供を実施するため、利用者数に対して最低の人員配置基準が定められています。しかし、国の統計調査では、どの業態（施設系）においても最低の人員配置基準を上回る配置がされていることが明らかになっています。それにも関わらず、介護・福祉現場からは、「必要なサービスが提供できない」、「休憩・休日がとれない」などのサービス提供に支障をきたしている実態や、労基法が守られない実態の改善要望が後を絶ちません。

介護・福祉施設で働く介護業務に従事する職員は、現在の人員体制をどのように捉えているのかを把握し、国、自治体などに対して必要事項を要請することを目的に調査を実施しました。

【調査内容】 現在の人員体制について

【調査項目】

- ① 事業内容
- ② 現在の人員体制で利用者に十分な介護・福祉サービスが行えているか
- ③ 現在働いている職場の介護・福祉職員を「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」ですか、「減らしてほしい」ですか
- ④ 質問 3 で、①増やしてほしいを選択された理由。（複数回答可）
- ⑤ 質問 3 で、②減らしてほしいを選択された理由。（自由記載）
- ⑥ その他 国や自治体などへ伝えたい介護現場の声（要求・要望）（自由記載）

【回収数】 22 道府県 935 人分（内、調査対象 22 道府県 864 人分）

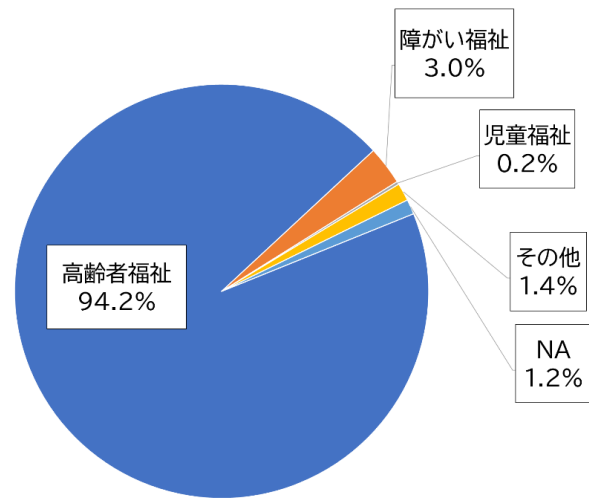
※労働組有は 774 人

※13 業態に分類

**質問. 1**では、『高齢者福祉、障がい福祉、児童福祉、その他』の項目に分けて事業内容を問いました。

**事業内容の内訳**

- ・ 高齢者福祉 : (814 : 94.2%)
- ・ 障がい福祉 : (26 : 3.0%)
- ・ 児童福祉 : (2 : 0.2%)
- ・ その他 : (12 : 1.4%)
- ・ NA : (10 : 1.2%)

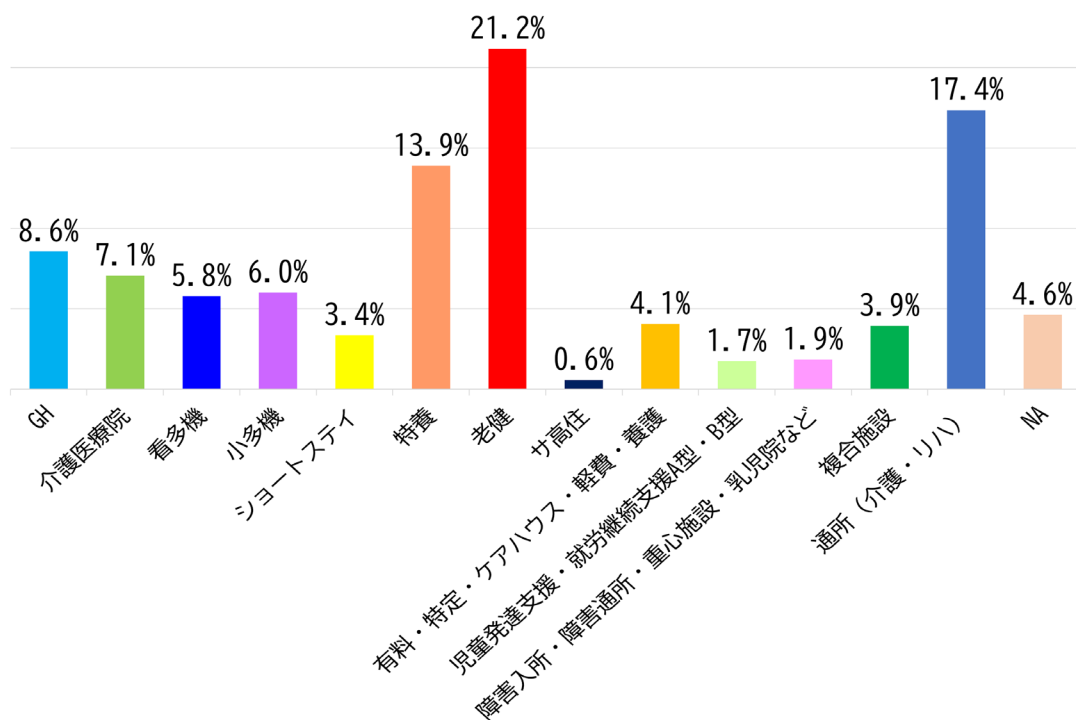


**質問. 1**では、内容とともに業態を聞いています。回答のあった業態の内訳は以下となります。

**業態の内訳**

GH (74 : 8.6%)、介護医療院 (61 : 7.1%)、看多機 (50 : 5.8%)、小多機 (52 : 6.2%)、ショートステイ (29 : 3.4%)、特養 (120 : 13.9%)、老健 (183 : 21.2%)、サ高住 (5 : 0.6%)、有料・特定・ケアハウス・軽費・養護 (35 : 4.1%)、児童発達支援・就労継続支援A型・B型 (15 : 1.7%) 障害入所・障害通所・重心施設・乳児院など (16 : 1.9%)、複合施設 (34 : 3.9%)、通所 (150 : 17.4%)、NA (40 : 4.6%)。

※複合施設は、1回答内に複数の業態の記載があったものをまとめています。



**質問. 2**では、現在の人員体制で利用者に十分な介護・福祉サービスが行えているかを『①十分、②普通、③やや不十分、④不十分、⑤わからない』を選択式で問いました。

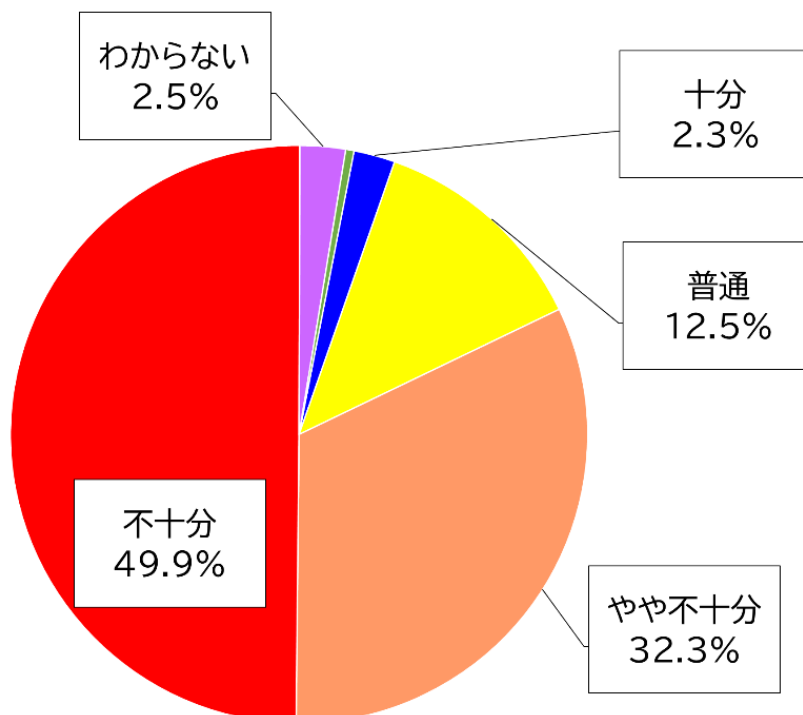
アンケートの回答率は、「不十分」が（431：49.9%）と過半数に迫る回答率になりました。「やや不十分」の回答率は（279：32.3%）3割以上の回答率となり、「不十分」、「やや不十分」を合わせると、圧倒的多数の82.2%がサービス提供に不十分さを感じています。

不十分さが80%を占める回答状況は、現在の人員配置の水準を基にしたサービス提供体制では、必要最低限のケアを提供することに留まらざるを得ない状況になってきていることが考えられます。

その要因として、重度化や加算対応の事務処理など、多機に渡る業務のなか、本来人員が担保されなければならい所へ対応が後手になっているからだと考えます。

#### 回答の内訳

- ・ 十分 : (20 : 2.3%)
- ・ 普通 : (108 : 12.5%)
- ・ やや不十分 : (279 : 32.3%)
- ・ 不十分 : (431 : 49.9%)
- ・ わからない : (22 : 2.5%)
- ・ NA : (4 : 0.5%)



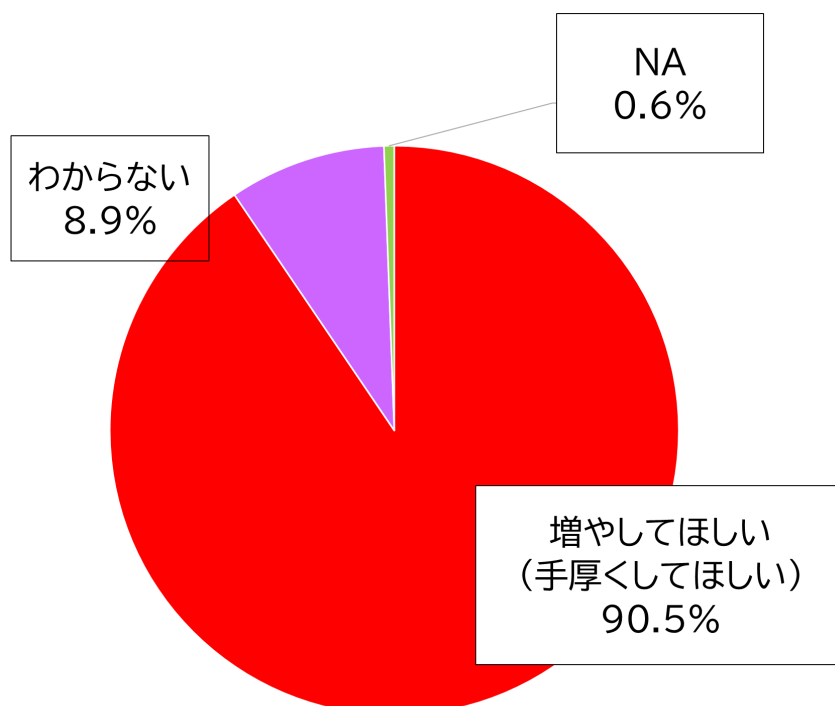
**質問. 3**では、現在働いている職場の介護・福祉職員を「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」か、「減らしてほしい」かを問いました。回答は人材不足、事業所の経営状況、国が定めている人員配置の制度を順守していることなどは考慮せず、率直に現場の実感として回答を求めました。回答は『①増やして欲しい（手厚くしてほしい）、②「減らしてほしい」、③「わからない」』を選択式で問いました。

職場の介護・福祉職員について、「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」の回答が（782、90%）となり回答者の9割が増ふやすことを回答しました。減らしてほしいの回答は（0、0%）と回答がありませんでした。

「質問. 2 で十分・普通のサービスが行えている」の回答者は、合わせて（128：14.8%）でしたが、質問. 3 では「減らしてほしい」の回答が（0、0%）であることから、現在は十分・普通にサービスが実践できている現場でも、現場で働いている介護・福祉労働者が減ってしまうと、この状況が悪化してしまうものと考えられ、決してサービス提供体制に余裕があるものではないことが伺えます。

#### 回答の内訳

- ・増やしてほしい：（782：90.5%）
- ・減らしてほしい：（0：0%）
- ・わからない：（77：8.9%）
- ・NA：（5：0.6%）



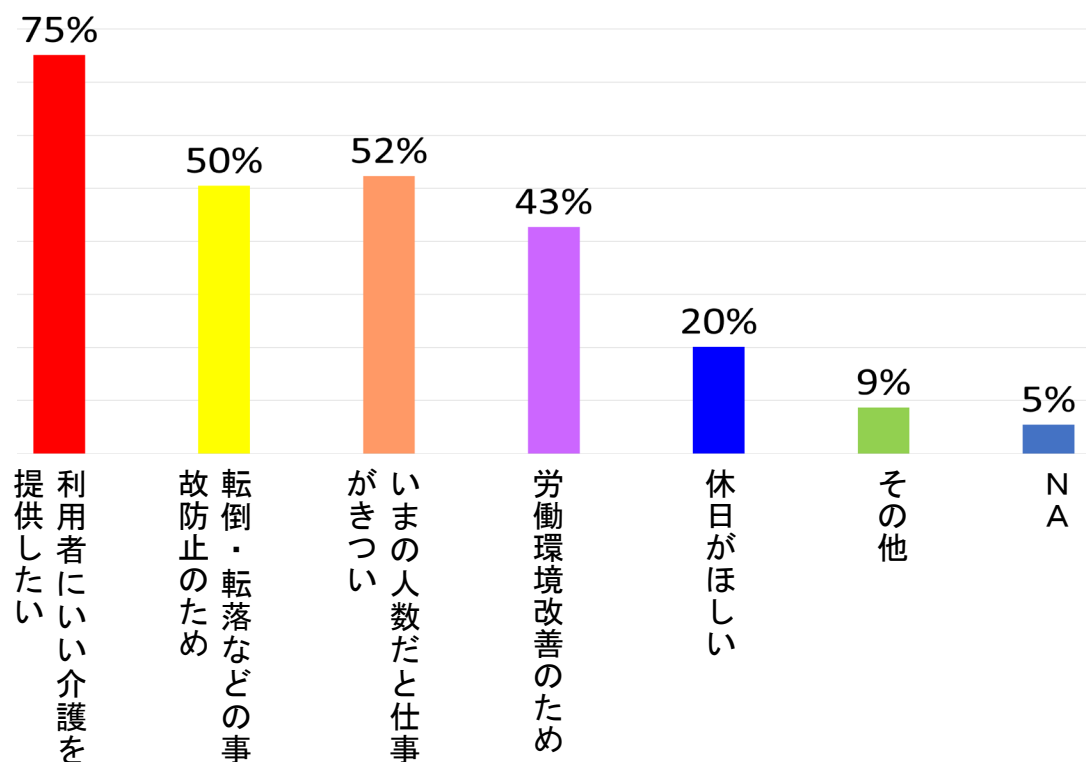
**質問. 4**では、質問3で、①増やしてほしいを選択された理由を複数回答可でとしました。

選択項目

- ①利用者にいい介護（利用者本位や寄り添うケアなど）を提供したい
- ②転倒・転落などの事故防止のため
- ③いまの人数だと仕事がきつい
- ④労働環境改善のため
- ⑤休日がほしい
- ⑥その他 \*⑥その他を選択した場合、その理由を教えてください。

回答は、利用者にいい介護を提供したい（649：75%）最多となり、2位：いまの人数だと仕事がきつい（452：52%）と3位：転倒・転落などの事故防止のため（436：50%）とほぼ同率になりました。次いで労働環境改善のため（369：43%）、休日がほしい（174：20%）、その他（77：9%）と続いています。

回答の結果からは、現場の介護・福祉労働者は、利用者にいい介護を提供したいという思いから職員を増やすこと望んでおり、利用者・患者が安全に過ごしてほしいという思いから転倒・転落防止など事故防止の観点の回答が多くなっていると考えられます。一方で、いまの体制では仕事はきつく、労働環境の改善が必要であることも避けては通れなくなっています。





**質問. 4-⑥その他** \* ⑥その他を選択した場合の自由記載抜粋 (77 : 9%)

- ・ 経営難であっても支援の在り方がぶれず、責任感のある仕事（支援）ができ、利用者様のニーズに対応できるようできるよう、職員数を増やしてほしい。
- ・ 夜勤は一人でコール対応する時間があり、迅速にコール対応できず、転倒に繋がるなど安全を守れないときがある。
- ・ 有給休暇の取得がとても厳しい
- ・ 残業をせず定時で帰りたい、残業時間の短縮削減
- ・ 1人夜勤の為
- ・ 夜勤の勤務が1人ですべて行なっているので2名体制にしてほしい。
- ・ 職員の急な休みなどがあると職員数がぎりぎり運営せざるを得ないことがある。
- ・ 家族の希望通りのサービスを提供できない。
- ・ 日常的にレクリエーションを提供し、実行できるだけの人員を確保してほしい。

※**質問 5** 質問3で、②減らしてほしいを選択された理由は回答がなかったため割愛します。

-----

**その他** 国や自治体などへ伝えたい介護現場の声（要求・要望）を自由記載で求めました。自由記載には 864 人中 450 人が回答しました。回答については、①賃金・処遇改善、②報酬・制度改善、③退職防止・増員、④声をきいてほしい、⑤ハラスメントに分類しました。

**回答の内訳** ※回答母数 450 人分

- ①賃金・処遇改善 : (248 : 55.1%)
- ②報酬・制度改善 : (109 : 24.2%)
- ③退職防止・増員 : (116 : 25.8%)
- ④声をきいてほしい : (55 : 12.2%)
- ⑤ハラスメント : (8 : 1.8%)

**各分類の声抜粋**

①賃金・処遇改善 (248 : 55.1%)

- ・ 物価高に給料が追いついてないです。
- ・ 仕事はきついのに給料が少なくモチベーションが上がりません。給料上げてください。
- ・ 時給を上げてほしい
- ・ 夜勤などが人手不足の為給料を増やして人員を増加させて欲しいです
- ・ 人員不足と安い給料をどうにかして欲しい。もう限界です。辞めそうです
- ・ お給料をもっと増やして欲しい。1 次金だけでなく、定期的に貰えるお金が欲しい。基本給の底上げや、ボーナスの賃上げをしっかりと行って欲しい。
- ・ 介護職の賃金を上げて深刻な人員不足を解消してほしい。
- ・ 給与が上がらないと、人がいないと、利用者に寄り添いたいと思って始めた仕事も続かないなと思います。
- ・ 肉体的、精神的に負担が大きい仕事であり、業務量も多いのにも関わらず、賃金が安いと思います。
- ・ 労働に対する賃金の安さ、スーパーの店員さん（職業を軽視しているわけではない）より時給が低い事に納得できない。
- ・ 高齢者、障がい者、児童の福祉施設や保育園等で働いている職員の給料が安すぎる。これからどんどん AI が発展していく世の中になり、対人の仕事は益々重要になってくる。全ての福祉関係者の給料を上げてほしい。
- ・ 介護を目指す若者も減り、介護は魅力を感じられず、スタッフの笑顔も消えているのが現状です。せめて介護をしてみようかなと思えるよう、給与を上げる。待遇を良くする等考えないと今の世代に介護が必要になったとき、日本は崩壊します。介護現場のスタッフが足りず介護施設で働く者全員、疲弊している。給与をあげ、しっかり休める体制づくりを行うべきです。

## ②報酬・制度改善（109：24.2%）

- ・ 介護業界は常に人員不足なのは、介護処遇の改定が現状に見合っていない事も一因だと思います。三年に一度では間に合いません。社会保障を手厚くしていきたいのであれば介護についてもきちんと対応してほしい。
- ・ あまりにも給付費が低すぎる。国は本来実施しなければならない社会保障費を抑え過ぎていると思う。我々の賃金も低いと思うがこのままでは質の良い介護支援と若い人たちは仕事を選ばないと思う。この悪循環を改善して欲しい。
- ・ 基準の配置では、お互いが満足できる介護は難しい。もっと、きちんと報酬を確保して、現場がきちんと潤う環境を整えてほしい。
- ・ 報酬アップしないと働く人がいなくなります。
- ・ 介護報酬の改善！ 職員が疲弊しないよう法定数を増やしてほしい。
- ・ 介護報酬を引き上げないと経営がまわらない。このままでは倒産する施設もでてしまうかもしれない。そうなったら行き場のない人たちが沢山でてしまうので、そうなる前になんとかしてほしい。
- ・ 施設で働く介護人材確保・配置を今より手厚くするため、保険点数を上げて頂きたい。
- ・ 低すぎる介護報酬では人材が集まらず、離職も生まれる。養成校出身の介護福祉士が少なく、現場でも十分な教育がなされないため介護の質が上がらない。量的にも質的にも低下している。
- ・ 人をケアする仕事。内容もハード。労働環境も厳しいので報酬面はもっとあるべき。
- ・ 介護報酬が低いのでなく介護現場の生産性が低いというような議論はやめて頂きたい。介護業務の大半は利用者への直接介助であり、その生産性を上げるという発想は、質を下げる事に直結します。

## ③退職防止・増員（116：25.8%）

- ・ 介護現場では人手不足が深刻です。だれか一人が休んだり（病欠など）退職されたりすると、シフトがまわりません。職員モチベアップのため介護報酬見直しや介護処遇改善手当をあげてほしい。余裕のある人員配置基準を。
- ・ このままだと、この仕事が好きな人の離職が増えると思います。
- ・ 介護業界は常に人員不足なのは、介護処遇の改定が現状に見合っていない事も一因だと思います。三年に一度では間に合いません。社会保障を手厚くしてしていきたいのであれば介護についてもきちんと対応してほしい。
- ・ 利用者数に対し職員の人員体制の見直しをして欲しい。どんな基準で作ってるのかも知りたい。現場の苦勞が全くわかってない人が決めてるとしか思えない基準です。2週間くらい現場に入ってみて下さい。
- ・ 人手不足がコミュニケーション不足につながり、使用者に迷惑がかかるし、介護職員もやりがいを感じられず辞めてしまう。笑顔で働きたい！

- ・ 3対1→4対1への検討のニュースを見てがっかりした。人員不足により、さらに「キツイ」職業となるのか？人手不足解消してほしい。
- ・ スタッフが少ないことでケアの質は落ちている。転倒・転落への対応もできない。人がいないのに業務ばかり増えて、ただ仕事がきつくなり、まともな介護ができない。
- ・ 施設のはずなのに病状が安定の方が増えているように感じます。ここは病院かと勘違いしそうになります。時間に追われるのは辛い。
- ・ このままでは介護現場は崩壊してしまいます。人材確保早急に実現を！

#### ④声をきいてほしい (55 : 12.2%)

- ・ 規定の人数がいるから人員が足りているという考え方はやめてほしい。机上の空論です。
- ・ ひとつの見落としが死亡事故につながりかねない現場で日々最低限の人材でなんとか頑張って業務をこなしていますが、限界にも近い状況です。
- ・ 介護職員になっても、生活に困らず、やりがいを感じられる処遇の実現を求めます。やりたい介護は、介護職員自身にゆとりが無ければ、実現できません。利用者さんの安全を守る為にも、人員配置の増をお願いします。
- ・ 介護現場は24時間365日体制です。特に夕方から就寝介助までの時間帯、土日は人手不足が明白です。食事介助では、1人のスタッフが同時に利用者2名～3名の介助する場面、就寝介助では、鳴り止まないナースコール！一例の実態です。
- ・ 事故転倒、脱施設、ごえん等に対応できず怖いと思う。スタッフも高齢のパートなどでなんとか日々介護している。
- ・ 人の命を預かる。また、その家族の思いも受け取る重圧をしってください。介護福祉士は国家試験合格者です。
- ・ 職場に職員が足らず、みんな疲れ切って仕事をしている現状を知ってほしい。認知症の人の対応の大変さをわかってほしい。高齢者施設がつぶれたら入居者はどうするのか？家族も仕事ができなくなってこまると思う。
- ・ 利用者数に対し職員の人員体制の見直しをして欲しい。どんな基準で作っているのかも知りたい。現場の苦勞が全くわかってない人が決めているとは思えない基準です。2週間くらい現場に入ってみて下さい。
- ・ 介護は必要であり重要です。介護は女性がする事、家事の延長線と思っている方もいらっしゃるようですが介護離職されてる方の声を1人でも多く聞いて欲しいです。

#### ⑤ハラスメント (8 : 1.8%)

- ・ 日々の暴力や暴言等、ストレスの中働いている方達への意見をもっと聞けるよう取り組みをお願いしたい。

- ・ 認知症だから、という理由で暴力、暴言、セクハラを受けてもあまり改善されないこと。あるあるとして受け取られてしまうこと。
- ・ 利用者や利用者家族からのハラスメントに対する対策
- ・ 介護職員に対して認知症なら暴力暴言が許されている環境がおかしい。
- ・ 利用者様からの暴力などから職員の立場をまもってほしい。

| 基礎項目                                                           | 回答項目                 | 回答状況    |       |
|----------------------------------------------------------------|----------------------|---------|-------|
|                                                                |                      | 935     |       |
|                                                                | 道府県                  | 22      |       |
|                                                                | 調査対象                 | 864     |       |
|                                                                | 労働組合 有               | 774     | 89.6% |
|                                                                |                      |         |       |
| 質問項目                                                           | 回答項目                 | 回答状況    |       |
|                                                                |                      | 調査対象回答数 | 864   |
| 質問. 1<br>事業内容                                                  | 高齢者福祉                | 814     | 94.2% |
|                                                                | 障がい福祉                | 26      | 3.0%  |
|                                                                | 児童福祉                 | 2       | 0.2%  |
|                                                                | その他                  | 12      | 1.4%  |
|                                                                | NA                   | 10      | 1.2%  |
|                                                                |                      |         |       |
| 質問. 1-2<br>業態                                                  | GH                   | 74      | 8.6%  |
|                                                                | 介護医療院                | 61      | 7.1%  |
|                                                                | 看多機                  | 50      | 5.8%  |
|                                                                | 小多機                  | 52      | 6.0%  |
|                                                                | ショートステイ              | 29      | 3.4%  |
|                                                                | 特養                   | 120     | 13.9% |
|                                                                | 老健                   | 183     | 21.2% |
|                                                                | サ高住                  | 5       | 0.6%  |
|                                                                | 有料・特定・ケアハウス・軽費・養護    | 35      | 4.1%  |
|                                                                | 児童発達支援・就労継続支援A型・B型   | 15      | 1.7%  |
|                                                                | 障害入所・障害通所・重心施設・乳児院など | 16      | 1.9%  |
|                                                                | 複合施設                 | 34      | 3.9%  |
|                                                                | 通所（介護・リハ）            | 150     | 17.4% |
|                                                                | NA                   | 40      | 4.6%  |
|                                                                |                      |         |       |
| 質問. 2<br>現在の人員体制で利用者に十分な介護・福祉サービスが行えているか教えてください。               | 十分                   | 20      | 2.3%  |
|                                                                | 普通                   | 108     | 12.5% |
|                                                                | やや不十分                | 279     | 32.3% |
|                                                                | 不十分                  | 431     | 49.9% |
|                                                                | わからない                | 22      | 2.5%  |
|                                                                | NA                   | 4       | 0.5%  |
|                                                                |                      |         |       |
| 質問. 3<br>現在働いている職場の介護・福祉職員を「増やしてほしい（手厚くしてほしい）」ですか、「減らしてほしい」ですか | 増やしてほしい（手厚くして）       | 782     | 90.5% |
|                                                                | 減らしてほしい              | 0       | 0.0%  |
|                                                                | わからない                | 77      | 8.9%  |
|                                                                | NA                   | 5       | 0.6%  |
|                                                                |                      |         |       |
| 質問. 4<br>質問3で、①増やしてほしいを選択された理由を教えてください。<br><br>（複数回答可）         | 利用者にいい介護を提供したい       | 649     | 75%   |
|                                                                | 転倒・転落などの事故防止のため      | 436     | 50%   |
|                                                                | いまの人数だと仕事がつい         | 452     | 52%   |
|                                                                | 労働環境改善のため            | 369     | 43%   |
|                                                                | 休日がほしい               | 174     | 20%   |
|                                                                | その他                  | 77      | 9%    |
|                                                                | NA                   | 47      | 5%    |
|                                                                |                      |         |       |

2025 年 6 月 5 日

各加盟組織 執行委員長 殿

日本医療労働組合連合会  
中央執行委員長 佐々木 悦子

## 介護・福祉施設の人員配置についてのアンケート調査の取り組みについて

介護・福祉施設では、適切なサービス提供を実施するため、利用者数に対して最低の人員配置基準が定められています。しかし、国の統計調査では、どの業態においても最低の人員配置基準を上回る配置がされていることが明らかになっています。それにも関わらず、24 年の介護報酬改定において、特定入居者生活介護（有料老人ホームなど）の人員配置基準が緩和されました。

厚労省と財務省の閣僚折衝では、人員配置基準緩和の議論を行い、特別養護老人ホームなどにおいても、現行の基準をエビデンスが得られれば、「期中でも見直しの検討を行う」としています。

つきましては、介護・福祉施設の人員配置についての実態を調査し、国、自治体などに対して、その実態から要請していきたいと考えておりますので、各加盟組織におかれましては、積極的に取り組みをすすめていただけますよう、お願い致します。

### 記

#### 1) 取り組み方法

添付のアンケート用紙を、ご活用いただき個人単位で回答をお寄せください。

回答方法：①アンケートへの回答は添付①を印刷していただき、直接記入し回答。

②QR コードもしくは URL を活用し、グーグルフォームより回答。

※労働組合の未組織事業所を対象にして、取り組みをすすめていただいて構いません。

#### 2) アンケート調査対象者

介護・福祉施設で働く介護業務に従事する職員

#### 3) 取り組み期間

6 月 9 日（月）～8 月 31 日（日）まで

※第一次集約：7 月 31 日、最終集約：9 月 5 日

#### 3) 調査送付方法

下記まで、郵送、FAX、E-mail またはグーグルフォームから、ご都合の良い方法でお送りください。

<日本医労連>

\* 郵送：〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 3F

\* FAX：03-3875-6270

\* E-mail：[kaigo@irouren.or.jp](mailto:kaigo@irouren.or.jp)

\* グーグルフォーム：<https://x.gd/eTZ8b>



お問い合わせ：日本医労連介護対策委員会事務局 原・寺田・黒田

以上

# 介護・福祉施設の人員配置についてのアンケート

こちらのアンケートは介護・福祉施設職場で働く、介護職員の人員配置基準の実態を明らかにして、国や自治体に制度改善を求めるために使用します。個人情報の開示はありません。アンケート調査〆切 8 月 31 日。

\*あてはまるものに○を、またはご記入ください。なお、下の QR コードから Google フォームでも回答可能です。

○あなたの事業所のある市町村名 ( \_\_\_\_\_ 都・道・府・県 (任意) \_\_\_\_\_ 市・区・町・村)

○連絡先: ((任意) \_\_\_\_\_ ) ○あなたの事業所に労働組合は ( ある ・ ない )

## 質問 1 事業内容及びサービス名

① 高齢者福祉 (例: 特養ホーム \_\_\_\_\_ )

② 障がい福祉 (例: 障がい者入所施設 \_\_\_\_\_ )

③ 児童福祉 (例: 乳児院 \_\_\_\_\_ )

④ その他 (例: 重心施設 \_\_\_\_\_ )

## 質問 2 現在の人員体制で利用者に十分な介護・福祉サービスが行えているか教えてください。

①十分 ②普通 ③やや不十分 ④不十分 ⑤わからない

## 質問 3 現在働いている職場の介護・福祉職員を「増やしてほしい(手厚くしてほしい)」ですか、「減らしてほしい」ですか

※ 質問を回答するうえで、介護人材不足、事業所の経営状況、国が定めている人員配置の制度を順守していることなどは考慮しないで、率直に現場の実感として、ご回答ください。

① 増やしてほしい(手厚くしてほしい) ② 減らしてほしい ③ わからない

\*①を選択された方は質問 4 へ、②を選択された方は質問 5 へ

## 質問 4 質問 3 で、①増やしてほしいを選択された理由を教えてください。(複数回答可)

①利用者にいい介護(利用者本位や寄り添うケアなど)を提供したい ②転倒・転落などの事故防止のため

③いまの人数だと仕事がきつい ④労働環境改善のため ⑤休日がほしい ⑥その他

\*⑥その他を選択した場合、その理由を教えてください。

( \_\_\_\_\_ )

## 質問 5 質問 3 で、②減らしてほしいを選択された理由を自由記載で教えてください。

( \_\_\_\_\_ )

## その他 国や自治体などへ伝えたい介護現場の声(要求・要望)をお書きください

\*ご協力ありがとうございました。返信は下記 FAX または E-mail、右記 Google フォームから都合の良い方法でご返信ください。

返信先、日本医労連 FAX 03-3875-6270 / E-mail: [kaigo@irouren.or.jp](mailto:kaigo@irouren.or.jp)

Google フォーム  
の回答はこちら

